SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

VII 刊行物・広報
(年次報告(平成23年度後期・24年度前期))

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 原沢, 伊都夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007686

Ⅶ　刊行物・広報

原沢　伊都夫

平成24年に国際交流センターに関係した刊行物としては、「国際交流センターニュース第12号」「国際交流センターニュース第13号」「国際交流センター紀要第６号」「海外留学ハンドブック」などがある。また、広報に関しては、ホームページの内容の充実を図ってきているところである。

1. 国際交流センターニュース　第12号（平成24年４月発行）

巻頭に石井潔氏（副学長・附属学校学園担当）による「留学生と日本人学生の交流を深めるために」を掲載し、平成23年度後期の活動紹介を中心に、平成24年度４月からの新入生に向けての紙面となっている。巻頭と国際交流センターの概要を日英両語で掲載し、海外からの訪問者へのセンター説明にパンフレットの代わりに使えるように配慮している。新しい試みとして、若手研究者（工学部准教授真田俊之氏）による「カリフォルニア工科大学に滞在して」と短期留学参加者（人文学部２年渡邊由季さん）の「アメリカでの３週間」を掲載。また、留学生の声として、タマサート大学交換留学生（人文社会学部、タイ）のアッチャリヤシプル・パッソーンさんによる「日本で驚いたこと」、王晨旭さん（工学部機械工学科２年、中国）の「夢が叶う第一歩」が掲載されている。

2. 国際交流センターニュース　第13号（平成24年10月発行）

巻頭に松田純氏（国際交流センター副センター長、人文社会科学部教授）による「革新的医療機器のグローバルな展開～ロボットスーツと日本再生～」を掲載するとともに、平成24年度前期の活動報告を写真とともに紹介している。学生による活動報告として、早川怜佑さん（情報学部情報社会学科）が「リアルアドベンチャー」、山本恭子さん（教育学部生涯教育課程３年）が「何のための留学？」と題して、ロレーヌ大学（フランス）とヴッパタール大学（ドイツ）の留学体験談を披露している。また、ラム・ティ・サンさん（工学部機械工学科２年、ベトナム）による「冷たいと思ったけれど」とアロン・キャメンジンドさん（ネブラスカ大学オマハ校交換留学生、アメリカ）による「地震の経験」が紙面を飾っている。最後に、留学生のために国際交流業務に携わる教職員の紹介を写真入りで行っている。

3. 国際交流センター紀要　第６号（平成24年３月発行）

論文については、センター専任教員５本と、本学教員１本、本学非常勤講師１本、短信として本学教員が１本の合計８本が掲載されている。その他に、日本語教育、指導・相談業務、学生交流、海外学生派遣、地域交流、海外大学・機関との交流、刊行物・広報などのセンター活動報告が収録されている。

4. ホームページ

国際交流センターが発足して以来、ホームページを一新して、ワンストップのサービスの充実を図ってきている。それぞれの分野を専任教員が担当し、最新の情報を日本語と英語で発信している。

5. そ の 他

国際交流課が中心となり、「海外留学ガイドブック」および「静岡大学からの海外留学」を作成し、海外への留学を希望する学生の便宜を図っている。また、夏季短期留学参加者による報告書も作成されている。